

ごみコミュニケーション

〈ねらい〉

コミュニケーションについて学び、他人の価値観を受容する態度を育成し、自らの価値観を再認識する。また、他人との価値観の違いに気づく。ここでは、ゴミについてのコンセンサス実習です。ある都市の住民1世帯（平均2.2人）あたりの1週間のゴミについて何がが多いかを考えて順位をつけます。この課題には答えがあります。

〈やり方〉

- ① 課題シートとグループ決定シートをひとり1枚配布する。
- ② 課題を理解して（説明を加えながら）、自分の意見を決める。（5分）
- ③ 個人の意見を交流し、グループの意見としてまとめていく。（20分）
- ④ グループの代表が発表する。（5分）
- ⑤ 答えを発表。（2分）
- ⑥ ふりかえりシート記入。（5分）
- ⑦ ふりかえりシートの交流（10分） ※時間は約である。

〈留意点〉

- ・自分の価値観に固執する生徒、すぐに他人の意見に流される生徒、まったく議論に参加しない生徒、生徒たちの意外な一面を見つけることもできる。
- ・苦しんでいるグループは激励し、少しヒントを与えてもいい。（例：「3位は〇〇です」）

【解答】

	重 さ	順 位
プラスチック類	1. 0 4	2
台所のゴミ	0. 3 8	6
紙類	3. 0 0	1
繊維類	0. 6 5	3
ガラス類	0. 4 3	5
金属類	0. 4 9	4
石・陶器類	0. 1 7	7

〔ごみコミュニケーション〕

課題シート

新聞を読んでいると環境問題に関する記事がよく見かけますね。その環境問題の中で、身近なゴミの問題についてみんなで考えてみましょう。

みなさんの課題は、次のとおりです。

平成〇年度、〇〇市が家庭から出た普通ゴミの重さは一世帯、1週間あたり、水分量を除くと6. 99kgでした。この内訳を重い順に並べることです。

プラスチック類（トレイや柔軟剤等の容器等）

石・陶器類（茶碗やコップ等）

紙類（新聞紙や雑誌等）

繊維類（古着やタオル等）

ガラス類（ビンやガラス等）

金属類（空き缶やアルミはく等）

台所ゴミ類 の7種類

ヒント（重さの内訳（kg））

3. 0 0 1. 0 4 0. 6 5 0. 4 9 0. 4 3 0. 3 8
0. 1 7

- 1 自分の考えで重い順に1から7をグループ決定シートの「自分」の欄に記入する。
- 2 自分の意見が決まったら、その理由も準備しておく。
- 3 後で、グループで話し合っって順位を決めます。
- 4 積極的に話し合いに参加して、グループ決定に協力する。

【グループの話し合いの注意点】

- ※ 自分の意見をしっかり言いましょう。みんなの意見をしっかり聞きましょう。納得するまで話し合いましょう。
- ※ 全員の話し合いの結果が答えです。決して多数決やジャンケンなどで決めることのないようにしましょう。

	個人の決定	グ	解
--	-------	---	---

- ※ 議論で他の人を言い負かすのが目的ではありません。また、自分の意見に固執することがなく、納得して意見を変えたときは、みんなに知らせてください。

〔ごみコミュニケーション〕

	自 分						
プラスチック類							
台所のゴミ							
紙類							
繊維類							
ガラス類							
金属類							
石・陶器類							

グループ決定シート

	名
--	---

名

前

メモ欄

[ごみコミュニケーション]

ふりかえりシート

名前

1 あなたは、自分の意見を言えましたか？

	1	2	3	4	5	6
言えない						言えた

2 1で「1, 2, 3」に○をつけた人は、なぜ、言えなかったのか、その理由を簡単に書いてください。

3 あなたは、他人の意見を聞きましたか？

	1	2	3	4	5	6
言えない						言えた

4 1で「1, 2, 3」に○をつけた人は、なぜ、言えなかったのか、その理由を簡単に書いてください。

5 あなたはグループの誰に影響を受けたと思いますか？

6 その人（5で書いた人）のどんなところで、影響を受けましたか？

7 今後の学校生活にプラスワンできそうなことを書きましょう。